

りんごの天体観測

写真・サイズ可変・2014

鈴木 康広

作品解説

一見、銀河や星を写した天体写真のようであるが、いきなり種を明かしてしまうと、実はこのイメージはりんごの表面である。

ある時、作者はりんごの表面の模様が宇宙に似ていることを発見し、作品化を思い立つ。無数のりんごから、宇宙に見える個体を慎重に選び、デジタルカメラで撮影。撮影データはモノクロに変換し、ほんの少しコントラストを調整する以外の加工は行わない。修正によってりんごを宇宙のイメージに近付けることは容易だが、元のりんごそのままの姿であることが作品の肝となる。

画面の端に少し現れている曲線が作品を読み解くヒントとなっているが、ほとんどの鑑賞者はりんごだとは気が付かないという。だからこそ、「宇宙」と「りんご」という、あまりにかけ離れたイメージが結びついた時、脳が喜び、そこに笑いや感動が生まれる。固定観念にしばられて、平板になってしまいがちな私たちの生活に、造形の楽しさと発見の喜びとを教えてくれるアート作品である。